

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報秘書係

〒018-33
秋田県北秋田郡鷹巣町花園町19番1号

TEL 0186(62)1111
FAX 0186(63)2586



イヨ一 日本一!

ミス大太鼓が `初陣、

大太鼓の館や観光、物産などのキャンペーンガールとして活躍する `ミス大太鼓、が、6月4日のふるさと踊りと餅っこ祭りで紹介されました。明るく知性あふれる三人は左から佐々木かおりさん(25)、武藤祐美子さん(21)、仲谷志保子さん(21)で健康・容姿・態度の三拍子そろったミスに沿道からは盛んな声援が送られていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

5月31日現在	(前月比)
総人口 24,279人	(14人減)
男 11,813人	(5人減)
女 12,466人	(9人減)
(出生 26人 転入 64人)	
(死亡 23人 転出 81人)	
世帯数 7,294世帯	(9世帯増)

『子供のスポーツを考える』つどい』

スポーツ大好き少年を育てるために



町教育委員会・校長会・PTA連絡協議会が主催する「子供のスポーツを考えるつどい」が五月二十二日に中央公民館で開かれました。立派な子供を」と、それぞれ活動を展開していますが、その中でスポーツを「体力づくり」「人間形成」などの面から積極的に取り入れる小学校が増えております。つどいでは発育途上の子供のスポーツのあり方について、パネリストの提言を中心に、熱心な意見交換がされましたのでその要旨をご紹介します。

提言者

- コーディネーター
南中学校長…渡部稔さん
- パネリスト
東小学校長…成田正一さん
西小学校PTA理事…武田響一さん
鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団
指導員…丹信夫さん
鷹巣中央公民館係長…成田光弘さん
- 助言者
全日本スキー連盟スポーツドクター委員
県スポーツ医事委員、日本体協スポーツ
ドクター…奈良正人さん



渡部 稔さん

親は子に期待し教師は教えるに期待しながら「よかれ」と思って指導している訳です。だれも悪くしようと思っていない人は一人もおりません。ただ時には、心配のあまり「やり過ぎだ」「まだ足りない」とか「そんなザマでは勝てないゾ」といったさまざま

な声が聞えてきます。「正しいやり方はどうあるべきか」これは一概に言えるものではなく、ここで結論を出せるも

スポーツと勉強をいかに両立させていくか



成田正一さん

「子供たちの健全育成を考える時に、どのように育てればよいのか。私は子供を預かる立場として、子供たちをどのようにしたらスポーツ活動に楽しみを持ちながら接して行けるか、それが行く着くところは生涯教育、生涯体育になると思うし、そのための基礎をつちかうことが私たちに与えられているのではないかと考えています。」

一校の長として学校の教育目標に向け、学校、地域の願いのもとに知育・教育・体育という三つの調和のとれた方向に育てて行きたいという願いを込め、毎日の教育に携わ

のでもありません。

それぞれ四人の方から提言いただき、望ましい姿をみんで考えたいと思います。

つています。

スポーツ活動をおして最近「集中力がない」「根気がない」「苦しさに絶えぬく力がない」といったことがアンケートの中にも出てきますし

言われています。私たちが育つ

頃のように子供や家族が多く野原や川を飛び回って遊んだことが自然に体力や社会というものを覚えてきたものです。しかし現在はどうでしょうか。外での遊びもなくまた遊び方も知りません。そんな中で学校活動をとおしながら子供に欠如しているものを補な

取り組んでおります。

課外クラブは、人格の形成上大変に重要な学校教育の一環だと考えます。特に、私たちが子供の発育段階や成長過程の子供に対するスポーツ活動のあり方は、いろいろなことが言われておりますが、やはりスポーツを好きになる子供を作り、生涯にわたり生活の一部となり得るようにしてやることも大事です。

そのために各スポーツを体験させる必要があります。たとえ



スポーツにうち込んでいる時の瞳は輝いています

ば野球だけでなく各運動を通じて、小、中、高校と進んで行くなかで「自分に適したスポーツはなんだろう」と自分なりに発見し、喜びを持つてほしいと思います。

興味や関心から「僕はこんなことを。私は」という希望がありますので、教師は少しでも添えるように可能な限りの援助をしてやりたいし、またやっております。

ただ私たち教師としては子供に体力もつけてやりたいがやっぱり勉強の面も心配でありません。スポーツと勉強をいかに両立させていくかがポイントになると思います。それぞれ子供の個人差もあり、

常に子供の状態を見きわめる必要がある



武田響一さん

私は子供に野球、スキーをやらせている一人の親としての立場で、また学校側に協力

その個人差に応じた指導を考えた場合、実際に体験している先生であればいいのですがまったく経験のない先生にお願いしなければならぬことが現実にあります。

最近若い先生が多くなりましたが、若い先生にはどうしても子供に力をつけてもらうための教科の時間も必要となります。それと現場を預かる者として、どうすれば先生たちが両立できるか大変悩んでいるところがあります。どうかこの機会にみなさんにもいろいろな意見、要望などを出していただければありがたいと思います。

している一人の父親として意見を述べさせていただきます。子供は必ずクラブに所属することになっておりがんばっておりませんが、なかには監督である先生方の立場から、学習面を思わしくない時はクラブを休ませて勉強に力を入れる場合もあるようです。

その点では「やるべきことをやらない」と、それなり



今の子供は田や畑仕事を知らないと言うけれど……

に一時的な処置がとられており、基本的な方向は学校側の指導のもとに行い、父兄会としては大会等における子供たちの移動協力が、一番の役目となっております。

親としてはクラブをとおして根気やフェアプレー精神を学んでほしいし、社会的なルールを含めてクラブ活動で学んだルールを身につけてほしいと親の期待を込めてやっております。先ほどの成田校長先生からお話がありました



丹 信夫さん

子供に合ったトータルな指導を重視

が、私たちが育った当時は野山で遊んだものですが、現在はテレビ、ファミコンなどに限定されているような気がします。

やはり社会的に変化した部分の補いを、親としてクラブ活動に求めているように思えます。スキーの場合、西小は八幡平の合宿がありまして、これは親が主体性をもって運営し、一日のスケジュールが決っております。疲れを残さないように組んでいます。生活面のマナーまで含めてやっておりますので、スキーの上達ですが六年生が卒業する時点で「やってよかった」と感じてくれるのでは……と思っております。

野球ですが基本的には「楽しみながら体力づくり」がい

昭和五十五年「地域の子供たちの健全育成と競技スキー選手の育成」を目的に発足。内外から注目され三十五人の団員と指導員は、不安と期待を抱きながらのスタートとなりました。

トレーニンング内容としては

いとほしいですが、やはり一つの目標に向って……となるようです。選手とそれ以外の子供と、どうしてもなるわけですがやはり、選手を支えるスタッフがいないと対応できません。「選手になれなくても選手ががんばれるように」と先生方は教えておりますし、親も足を運びながら協力してやるべきだと思います。

子供がどんな気持でどう取り組んでいるか週一回あるいは二週間に一回でも見るべきだと感じます。いまの時期は大会も近いこともあり、子供が帰ってくれば暗くなり、これだけの運動量ですので疲れもあります。また本来の学習もあり、家庭はいかに効率よい生活の時間割を配慮してやるかだと思えます。

雪上のみならず、精神面も含めた体力づくり、キャンプ、勉強会など他県他町村での研修内容も参考にしながら運営することになり、二年目からは、薬師山スキー場のクリーンアップなど社会への奉仕面も取り入れるなど、しだいに活動範囲が広がりを見せ、町外のスキー大会でも上位入賞者が続出して、みんな大喜びしたものでした。

年々入団者の希望も多くなり、スタッフを増員しながら対応してまいりましたが、五十七年に小さな親切運動で当スポ少の清掃活動が認められ県本部から表彰されています。

この頃、卒団員のリーダー



スタンドと選手が一体となる

登録、父兄会も組織され団に対する協力も得られ軌道に乗りはじめ団も活発になってきました。

スポ少本部が指導する望ましい姿になり、各講習会を経て指導員は全員認定指導員として、団のみならず社会体育の場でも模範となるようがんばっております。

年間五十六日ほどの活動を展開しながら、雪上のみならず屋内、野外トレーニングなどトータル面を考慮しながら誕生会、水泳、キャンプなどのほかスキー用品のバザーなどは大変好評です。

学校が異なる仲間たちが合宿など、家庭を離れた中で体

験や活動をとおして得られるも

のは非常に大きいと思います。

勝っだけがスポーツでない 全力を出しきるのがスポーツだ



成田光弘さん

今の子供は孤独になりやすい面が多く、ともすればゲームやテレビにこもりがちで先立ってがんばろうとする気力が少ないと思う一人です。特に野球にかかわっている関係上、練習を見ていて感ずることが多くあります。現在は父兄のウェイトがとも大きく、その中で「勝たせたい」度合が強くと、勝つためにチームの完成を急ぐあまり、必然的に子供たちは「こちんまり」したチームが多くなっています。

選手になる、ならないは子供のレベルで決まってきましたが、指導者はレベルを下げて全員に声をかけてほしい。一番こわいのは、一員でありながら選手になれないのみならず「自分がかまってもうえられない」という、ざ折感だけは絶対味わせたくない—と自分の経験から感じますし、とっても大事なことだと思います。勝つ「目的のため練習量も多くなり「疲れている」にもかかわらず、押しつけ部分がないでしょうか。その結果、肩、ヒザ、腰などに障害が出てきている。それでも選手になりたいがゆえに、隠すこともあるので動作やプレーの中で指導者が感ずる必要がある。私は高校生と接する機会が多くありますが、プレーに家庭とか育ち方が出てきます。小・中学生段階で親が子供に一流のものを与えたり、世話をやきすぎる—などで、イザ高校になると大事などころで積極性や闘志を出せない子供を作っているのではないのでしょうか。



スポーツ笑顔は百万ドル

では「子供を伸ばすには」となりますが、私は親があまり「押しつけ」をしないことだと思えます。子供が野球を好きになるようなムードを作

ってやることだけでいいのでは。キャッチボール、走るなど子供に望まれたなら積極的に対応してやるのが、自主性を伸ばし、興味がわいて「よい結果」になると思えます。指導者はクラブと家族との「ホットライン」を持つてほしい。その中で子供がどんな考えで、どんな行動をしているか。また「こんな考えで今指導しているがどうか」など現場と家庭がつながっているなら「選手になる」「ならない」にかかわらず健全な精神で臨めるのではないかと思えます。

みんなで楽しいクラブ活動であり、家庭であり続けてほ

しいと思います。

大人は子供が伸び伸び プレーできる環境づくりを



奈良正人さん

以前は筋肉痛として済まされていたことが骨折であったということもあり、スポーツ障害は医療部門だけではなく、整骨院まで含め整形外科的なものと、整骨的なものはちがうのだということ認識していただきたい。障害の中で野球ヒジ、水泳肩など、たび重なる負荷によるものが結構あります。これは練習時間に平行していると言われ、一般的には四時間となっており、これを超えると極端に増えてきます。特に育ち盛りの子供は骨と軟骨が完全にくっついていない状態の時、発生率が高いと言われています。目立つのはヒザの障害で、特に陸上、バスケット、バレ—などで毎日の練習メニューが同じで障害がたまる傾向にある。「やめる」といいのですがそう行かないとすれば、医療と学校と父兄が同レベルで対処しなければいけないと思います。子供が「痛い」と言った時サボりたいのかどうか、しっかりと見きわめてほしい。「休むとレギュラーになれない」と本当のことを言わないようになりませう。子供が「サイン」を出したらしっかりと聞いてやる人間関係になってほしい。発育途上の子供たちですの

で食事はとても大事です。給食は運動している子も、それ以外も同じですので、朝食はもちろんなこと試合が近くなれば練習が長くなるようだったら父兄側で、なんらかの対応が必要になってきます。試合は練習の延長なので良い状態で臨ませたいが、逆に疲労困ぱいの状態にさせている場合がないでしょうか。

町の活力を総結集

▶汗ばむ陽気のなか一、二〇〇人のふるさと踊りの大行列が、目抜き通りを通過し最高潮に！



▼児童公園では餅、菓子などを買い求める人で大にぎわい。4千パックの餅はアツという間に売れきれました



◀はちまきをキリリと締めイザ出陣！

▼ズラリとならんだ婦団連の締太鼓。町民歌に合わせ60個が披露された





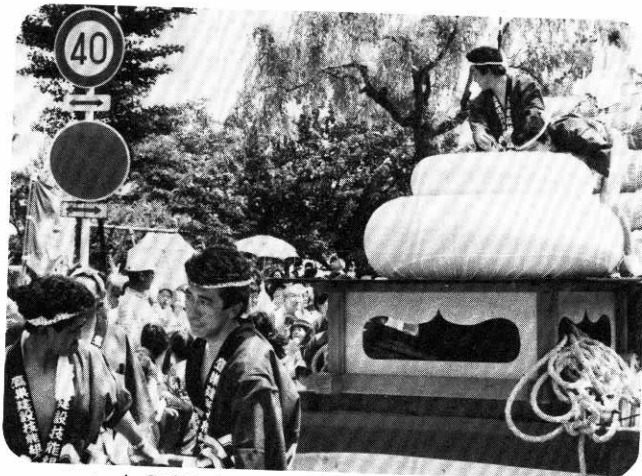
▲太鼓フェスティバルは銀座通りに特設ステージを設け、「大太鼓の里」を支える12グループが大熱演

6月4日

第5回ふるさと踊りと餅っこまつり



▶子供会でついた二斗の餅は、さっそくおしるこにしてふるまわれた



▲大八車からの紅白の餅に沿道は大歓声

松田林野庁長官も激励に見え、しばし歓談した。

■5月20日(土) 国際バスケットボール鷹巣大会。鷹巣体育館で行われ前年度日本リーグ優勝のいすゞ自動車とハワイ大学の対戦で、千二百人の観客は、超一流のプレーを堪能した。

■5月22日(月) 土地改良関係の農道等の工事促進で東北農政局(仙台)に陳情した。

■5月24日(水) 鷹巣農業



市長 日記
出川 禮

5月16日~31日

役場職員等の避難訓練とポンプ放水など、地震発生による庁舎内部火災の対応として行われた。

■5月28日(日) 大館北秋鹿角合同の水防訓練大会。会場を町内米代川河川敷に設定し、想定は異常豪雨により米代川が増水し、関係市町村の消防団員の出動により、それぞれの工法による堤防の擁護と、決壊箇所への出水抑止措置等であり、団員の真剣な姿が見られた。

■5月17日(火) 東京において全国砂防協会総会が、翌18日は全国道路利用者会議創立四十周年記念式典が行われ出席した。

■5月19日(金) 第六回森林(もり)の市に出席。この市は代々木公園で開かれ、本県からは当町の森林組合が、間伐材を主体にして造ったログハウス等をはじめ三森林組合が出品した。また会場には羽田農林大臣、改良普及事業協議会の総会を開催した。

■5月25日(木) 全国治水砂防協会秋田県支部理事会及び総会に出席した。

■5月26日(金) 鷹巣町防災訓練。「県民防災の日」つまり、昭和五十八年の同日に発生した日本海中部地震における教訓にたつて、全県的規模で各市町村がそれぞれの想定により、一斉に行われたもので、当町は

秋田県町村会

会長に出川町長就任



県内六〇の町村で構成する秋田県町村会の臨時総会が六月二日、秋田市で開催され、任期満了にともなう役員改選が行われました。会長選出では、出川鷹巢町長と前川岩城町長で十年ぶりの選挙となり、出川町長が選出されました。任期は二年です。

郵便局の簡易保険

町民のために役立っています

みなさんが加入している郵便局の簡易保険積立金は、公園、道路などの公共施設の整備資金として町に還元融資され、地域社会の発展と住民福祉の向上におおいに役立っています。

当町が実施した多くの事業に融資されておりますが、昭和六十三年度においても林道を含めた道路整備などに二千五百万円の融資を受けております。

ふだん、あまり気づかないところで簡保が大きな力を發揮しているわけです。

〈融資対象事業及び融資額〉

- ▽緑地休養施設整備事業（慶祝公園内の広場、遊具） 三百七〇万円
- ▽林道開設事業（又右工門田ノ沢線、岩堰根線） 七百一〇万円
- ▽都市計画事業（太田・川口線） 百万円
- ▽米代川河川緑地整備事業（芝生広場や園路の整備など） 五百一〇万円
- ▽辺地対策事業（町道七日市・松沢線の改良舗装） 八百万円

夏季スポーツ教室の募集 スポーツでリフレッシュを

当町では、たくさんの方のスポーツ施設が整備されており、最近でも米代川河川敷に、野球場やソフトボール球場が、交流センター近くにはテニスコート四面がオープンし、多くの町民がスポーツに親しんでおりますが、教育委員会では、さらにスポーツの底辺を拡大するために、夏季のスポーツ教室を開設することになりました。

今回は、スポーツの機会に比較的恵まれない主婦や高齢者、働いている女性のために、次の三教室を開催することになりました。

- 〔グランドゴルフ教室〕
▽期日 6月28日～7月28日まで 毎週水曜日 5回
▽時間 午前10時から11時30分
▽場所 鷹巣競技場（雨天の時は鷹巣体育館）
▽指導者 体育指導委員・簾内真砂子さん
- 〔ジャズダンス教室〕
▽期日 6月29日～7月29日まで 毎週木曜日 10回
▽時間 午後7時から8時30分
▽場所 鷹巣体育館
▽指導者 加藤真紀子さん
- 〔参加料 五百円（ほかにスポーツ傷害保険に加入を希望される方は、千五十円負担していただきます）〕
■申込み 六月二十四日（土）まで 参加料を添えて鷹巣体育館（☎六二一三八〇）あて 申込みください。

▽期日 6月27日～7月18日まで 8月22日～9月26日までの火曜日 10回
▽時間 午前10時から11時30分
▽場所 鷹巣体育館
▽指導者 体育指導委員・成田アヤさん
▽主婦を対象に行われる教室です

おしらせ

**献血にご協力
してください**

献血車が次の日程で巡回します。多くの方がご協力くださるようお願いいたします。

●六月十九日

▽鷹巣高校（午前十一時～午後三時）
▽北秋田総合庁舎（午後三時二十分～五時）

●六月二十三日

▽鷹巣農林高校（午前十一時～二時三十分）

**サービス基本調査
事業所統計調査**

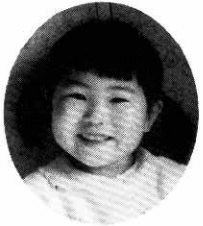
総務庁では、七月一日現在でサービス基本調査と事業所統計調査（変動状況）に関する調査を実施します。

虫歯のない子

（三歳児健康診査）



今泉・成田 恵ちゃん



掛泥・浪岡真弓ちゃん

土地や家屋の問題、近所のトラブル、子供のいじめの問題等で悩んでいる方、家庭内のもめごと、その他心配ごとをかかえている方はお気軽にお出ください。

**無料人権相談所
の開 設**

大館人権擁護委員協議会、秋田地方法務局大館支局では無料人権相談所及び映写会を開きます。

相談事項は、一切秘密に扱いますのでご利用ください。午後からは、映写会を開催しますので多数のご観覧をお願いいたします。

●日時 六月二十日（火）

▽無料相談 午前十時から午後一時まで

▽映写会 午後一時三十分から午後二時三十分まで

●場所 七日市基幹センター

町の人権擁護委員は次の方々です。▽奈良幸恵さん（住吉町）
▽畠山清吾さん（七日市）
▽河田秀一さん（米）
▽三沢愛さん（綴子）
▽高坂八衛さん（南鷹巣）
▽戸嶋玲子さん（坊沢）

**高齢年金新規
受給者の講習会**

鷹巣社会保険事務所では、高齢年金の新規受給者を対象に、受給者の一般的な基礎知識を学ぶ講習会を開催します。日程は次のとおりです。

▽日程 六月二十七日（受付時間正午）
▽場所 鷹巣阿仁広域交流センター

▽内容 年金受給後の手続・年金相談・友の会加入・血圧測定

▽アトラクション 民謡日本一・河田カツ子ショー

胃集団検診日程表

月日	曜	検診会場
6.19	月	蟹沢会館
20	火	上舟木生活改善センター
21	水	明利又会館
22	木	三ノ渡（畠山佐一郎宅前）
23	金	中屋敷会館
26	月	吉ヶ沢・深沢会館
27	火	葛黒林業センター
28	水	綴子基幹集落センター
29	木	〃
30	金	緑ヶ丘担い手センター

- 検診時間は午前5時30分～7時までです。
- 検診前日の夕食後はお茶、おやつ等を取らないこと。
- 問診票は記入のうえ当日受付へ提出願います。
- 検診料は700円です。
- 国民健康保険加入者は、国民健康保険証を持参して下さい。

夜間当番医（夜間診療）日程表

（午後6時30分～9時）

6月	曜日	医療機関名	電話番号
15	木	佐々木産婦人科医院	63-0105
16	金	盛岡医院	62-1101
17	土	戸嶋産婦人科医院	62-1123
18	日	北秋中央病院	62-1455
19	月	としま医院	62-1267
20	火	近藤医院	62-1263
21	水	佐藤外科消化器科医院	62-1420
22	木	佐々木産婦人科医院	63-0105
23	金	奈良医院	62-1146
24	土	藤原医院	62-2882
25	日	北秋中央病院	62-1455
26	月	盛岡医院	62-1101
27	火	戸嶋産婦人科医院	62-1123
28	水	佐藤外科消化器科医院	62-1420
29	木	近藤医院	62-1263
30	金	としま医院	62-1267

（急患以外は受けません）

三つ児の魂百までも 家庭教育学級は、今!

中央保育園家庭教育学級



家庭教育学級(乳・幼児)

町内には四幼稚園と七保育園があり、それぞれ特色ある幼児教育を展開しています。

婦人の就労が増加するにつれ、園の役割も次第に大きくなりつつあります。

子育てを園にたより過ぎる傾向がでてきていることも事実のようです。

そこで町内各園では、園と家庭で協力しあいながら子育てをするため、家庭教育学級を開設しています。

参加された方々の多くは、

「とても参考になった」と感想を述べておりますが問題点もでてきています。

幼保懇談会

公民館では、年二回、幼稚園と保育園の先生方に集まっていたいただき、幼児教育や家庭教育学級のあり方について話し合ってきました。

特に問題になっているのは次のことです。

▽ ぜひ参加していただきたい方が、仕事の関係や職場の事情等もあって、なかなか出席できないこと。

▽ 子育ての大半を母親一人にまかされ苦勞している母親が多くなつてきています。「子育て」について父親の役割を見直す動きがあるので、父親学級も考えなければならぬ時期ではないだろうか。

▽ 母親の留守中、ほとんど祖父母が育児にあたっているようであります。祖父母と若い母親の子育てについての意見のちがいのある場合、しつげが混乱することがあります。一貫した子育てをするために祖父母参観や祖父母学級も効果的ではないか……。

今年度の幼児の家庭教育学級は、以上の反省点にたつて各園で進めることになるものと思われます。

「三つ児の魂百までも」の諺にもあるように「幼児の心をどう育てるか」はその人の生涯の土台がしっかりできるかできないかにもかかわってくるようです。

年に二回か三回の家庭教育学級の機会であります。前もって仕事の都合を調整すると、職場への連絡をしておくなどして、実りある家庭教育学級にするよう、知恵と力をかしていただきたいものであります。

ふるさと人物伝

いよぎ 五代儀 喜蔵 ぞう

一八八五—一九六〇



中島京四郎などである。喜蔵は酒も煙草もやらず粗衣粗食を旨とし、言葉は飾らず、ちよつと風変わりな人であった。あるとき、ネクタイを貫つたが締め方がわからず、首に巻いて役場に行つてみんなに笑われたことがあった。

昭和の初め、太平町(現元町)が「シモ」と呼ばれていた頃、この通りは殆んどが農家であった。その中に、軒の杉皮が朽ち、カヤ屋根の所どころに草の生えている家があった。町会議員、五代儀喜蔵の家である。この廃屋のような家が当時の気骨ある若者達の溜り場であったという。ここによく来る人々から、この地区の政治、経済界の物がつぎつぎ出たのである。成田喜八、河田彦蔵、中林藤蔵、

彼の家を訪ねる人々は、そうした気がねない雰囲気の中で、何でも語り論じあった。いわばかくれたる人材養成の場であり、家主、喜蔵夫妻の人柄に敬愛の念をもつていたものと思う。明治十八年この地に生れた喜蔵は小学校卒業後、農業の傍ら酒の小売り店を営み家計は堅実であった。町内から推されて町会議員に当選する。また、司法保護士を長年つとめ東北表彰をうける。浄運寺檀家の会計を担当し、一千万円を残していたので寺が焼けたとき再建に大きく役立った。自らは人前に出ることを好まず潔癖を信条に生きた人であった。昭和三五没 七六歳 資料(三日田吉治、孫喜久雄談) 文責 長崎 久



アレ！川に水がない

雪が少なく早くから水不足が心配されていましたが、連日の好天続きでとうとう小猿部川が干しあがってしまいました。そのため農家では、農業用水の確保がきびしくなり、総出で取水口の整備に追われています。頭首工時代とはちがひ、揚水機が主流を占めています。今後も雨が少ないと事態が深刻化するものと心配されています。

「地域に埋れた技術と資源を活かして町の産業を見直そう」と第3回鷹おこし物産展が6月3日・

4日に中央公民館で行われました。800点あまりの作品がところ狭しと展示され、訪れた人は見事なできばえに感心。木工品が主流でしたが、中には陶器や手芸品なども見られ、町おこしにかける意気込みが感じられた二日間でした。

みんなのアイデアを一堂に



鷹巣産ログハウス東京に出現！

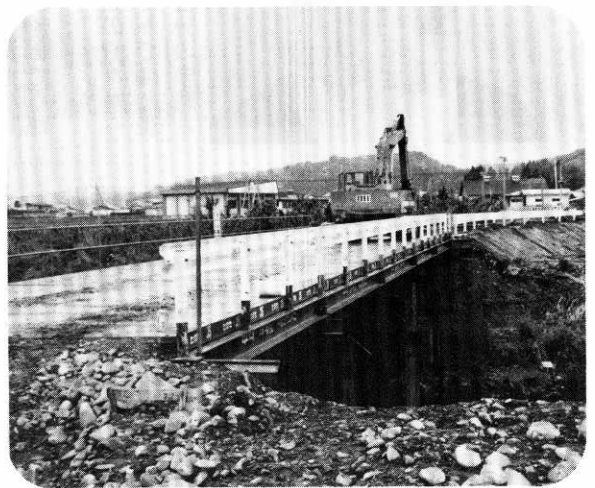
「緑と水の森林基金」をメインテーマに東京・代々木公園で林野庁が主催する第6回森林(もり)の市が5月19日から21日まで開催され、期間中17万人の入場者でにぎわいました。イベント会場には全国の「自慢こゝがズラリ。当町からは森林組合が小径木のログハウスや犬小屋、遊具を展示し独特な木のかおりや、肌ざわりなど大好評でした。



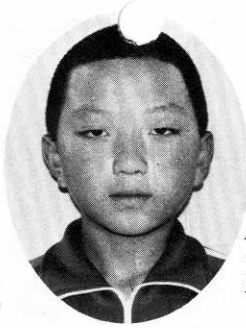
藤株橋が小森川の河川改修に伴う架替工事のため6月20日から来年3月20日まで、緊急車と路線

バスを除く大型車が全面通行止めとなります。現橋上流に仮設道路や橋を建設中ですが、片側通行となっており大型車は交差できません。北秋田土木事務所では、105号バイパスか県道川口・堂川線を迂回するよう呼びかけています。

大型車は通行できません

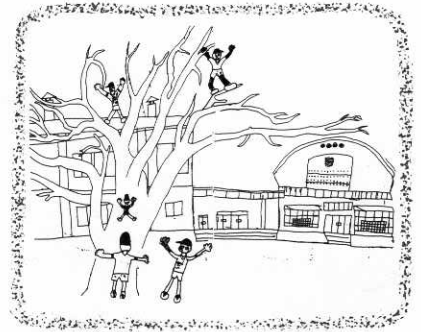


の広場

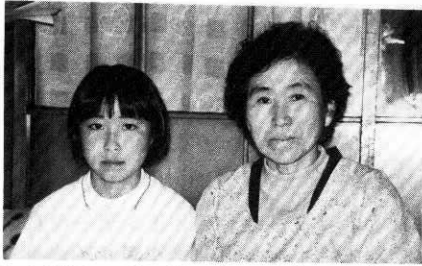


綴子小学校
小笠原

勝くん
(4年)



わたしのおばあちゃん、
小さな頃にお母さんをなくし、



南小学校 近 藤 さつきちゃん(5年)
イ クさん (59歳)

おばあちゃんの戦争体験

また、高校を終えた時には、第二次世界大戦を体験しました。今の私と比べると、大変苦しい毎日だったそうです。「教科書が買えなくて、学校から本をもらって一生けんめい勉強したものだ」というおばあちゃんのことを聞くと、教科書やノート、ランドセルまで全部そろえてもらい、クラブ活動もおそくまでがんばれる今の自分は、とても恵まれているなあと思います。それに、貧しいくらいで大変だったろうに、それに負けずがんばってきたおばあちゃんはよくここまでやりきって

おじいさん おばあさん

から聞いたお話



えびす、だいこくの面

ニコニコ笑顔の 福の神

商家の商売繁盛を祝福して、店の中程の高い所に掲げた。鯛を釣り上げるえびすの笑顔、打出し木槌を持ち、米俵を踏まえるだいこくの笑顔、こんな風習は昔から皆の心にゆたかさを与えてくれた。

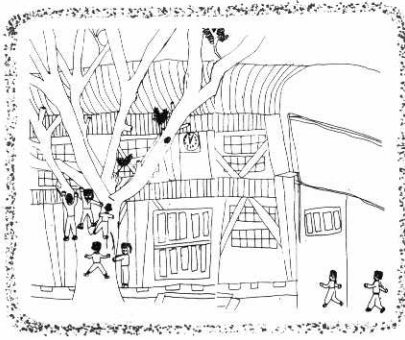
(松葉町・佐藤 富雄さん)



わたしの自慢 旺玄展・県展で入賞

高村岱・武 藤 タへ子さん(63歳)

退職後の余暇を有効にと考えていたころ、公民館の油絵講座開設がきっかけで、現在は鷹画会で勉強させていただいています。年一回の作品展や、町文化祭への出品には先輩の皆さんに余り見劣りしては恥しいと必死の努力が必要でした。でも制作の楽しさはその苦勞を忘れさせてくれました。そのころ仲間の方々から県展に挑戦してみてもと進められたが、自分の未熟さを知っていてもその気にはなれなかったし、そもそも絵は自分で楽しく描いているだけでいいのだという考えもあったからでした。そうしている間に自身の濃いものにするためには、いろいろな方から評価を受けることも必要であり、上達の一方法でもあるといわれ六十二年に、はじめて県展に出品を決意したが見事落選。やっぱりとよりよがり浸っている進歩は期待されないことを必々と知らされました。六十三年には旺玄展にも出品。今年も旺玄展、県展ともに入選させていただきました。ご指導下さいました神成先生や仲間の皆さんのアドバイスに深く感謝申し上げます。同時に皆さんと楽しく学習し合うことの大切さを、痛切に感じさせられています。



綴子小学校
堀内 麻 美さん
(4年)



みんな



これたなあとかんしんさせられました。

戦争が始まった頃、おばあちゃんは横浜の戦車を作る工場にいました。戦争が、はげしくなり、ばくだんが落ちて東京は焼け野原になりました。その時、ぼう空ごうの中で、死んだ人を見たそうです。

何万人もの死者を出し、体に火がついて川へとびこみ、その中で死んだ人もいたそうです。

それは、今、表現していても、とてもかわいそうです。食べ物もひどい当時だったので、食べる物がなく、とても苦しい毎日をすごしたそう

です。よく食べたのは、ジャガイモや、それをつぶしたもので、それをにたり、皮のまま、食べたりにしたそうです。

自分の家をつくったニワトリのえさも、おいしいというのでつぶして食べたりにしたそうです。今の食べ物がたくさんある時代と比べると考えられないほどつらかったことでしょう。

その苦しい毎日をのりこえてきたおばあちゃん。今は、とても平和です。おばあちゃんには、戦争などつらかったぶん、長生きして元気できてほしいと思います。

町民になりました みなさんよろしく!



魁新報社鷹巣支局長として4月に着任した大和田さんは「人情や自然が豊かな町で、仕事や生活を通じ自分の財産として蓄積したい」と意欲的。

鷹巣阿仁地区を担当。奥さんの和江さんと1歳5カ月になった真衣子ちゃんの3人家族です。

大和田滋紀さんご一家
中岱(秋田市からの転入です)

昭和45年春の中岱地内である。44年に幹線農道の完成と同時に開発に拍車がかかった。一番乗り、したのが北秋田総合庁舎で、当時は田んぼの中にボツンと見えた。その後、保健所や消防本部なども完成し、現在は官庁のみならず一大住宅街に変貌した。



たかのすの昔

あしらせ



一線美術会運営委員 九島寮二氏

六月の健康相談

六月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は二十八日まで。時間は午前十時から午後三時までです。

午前中は血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、ビデオによる健康教育「痛風とリウマチを予防する日常生活」について行います。

◇
◇
リハビリ学級は二十一日です。

在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。

※場所はいずれも中央公民館健康相談室です。

四カ月児健康診査、七カ月児健康相談と離乳食指導は二十七日です。

対象のお子さん、受付時間などは次のとおりです。

▽四カ月児健診 平成元年二月生まれ、受付時間は午後一時から一時三十分までです。

▽七カ月児健康相談と離乳食指導 昭和六十三年十一月生まれ、受付時間は午前九時三十分から十時までです。

母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

※場所は鷹巣保健所です。

◇
◇

入浴指導は十九日です。

入浴実習、家族計画、赤ちゃんの扱い方と衣類について、時間は午前十時から十一時三十分までです。

育児相談は二十二日です。子育てについての悩み、子供の健康発達など不安を持つ母親を対象に行います。

受付時間は午後一時から一時三十分まで、母子健康手帳をお持ちください。

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

母子健康手帳交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

▽日程 六月十九日

▽受付 午後零時三十分から一時（終了時間三時）

▽妊婦教室内容 妊娠中の栄養、母子健康手帳の使い方、

映画、むし歯予防

▽持参品 印鑑、歯ブラシ

▽場所 中央公民館保健相談室

善意

▽七日市 佐藤京子さんから

十万円

図書購入に役立ててください

と寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽新舟見町 芹田昭一さんから亡母サヨさんの香典返し

▽南鷹巣 村上昭一さんから亡母綾子さんの香典返し

▽旭町 二階堂剛さんから亡母ミツさんの香典返し

▽綴子下町 堀内修二さんから亡母品子さんの香典返し

▽小田 佐藤春彦さんから亡祖母キエさんの香典返し

▽横淵 佐藤美津男さんから亡母美津江さんの香典返し

慶弔だより

5月16日～5月31日

■誕生おめでとうございます

千葉 香里 昌弘 長女 中屋敷

渡辺 茉莉(純一) 長女 川口

照井 悠惟(通則) 長男 深関

成田 良太(徳男) 三男 今泉

明石 拓也(博美) 長男 赤利又

千葉 桃子(光隆) 二女 新舟見町

長崎 静香(義彦) 長女 新屋敷

佐藤 竜平(一) 長男 花園町

長崎沙知子(静生) 三女 緑ヶ丘

高橋 史弥(和徳) 長男 花園町

澤藤 ちさと(采雄) 二女 あげぼの

■二人の前途を祝福いたします

畠山 千春 新田中

高橋 利代子 下町

岩本 一志 岩脇

佐々木 美花子 合川町

野呂 正人 前山

三澤 久子 新田中

おくやみ申しあげます

成田 小一郎(70歳) 松葉町

鎌田 ミホ(79歳) 新田中

浅利 トク(83歳) 大町

小林 キネ(82歳) 下町

小笠原 イエ(80歳) 前山

佐藤 キエ(71歳) 小田

畠山 達也(52歳) 藤株

佐藤 保(40歳) 下家下

佐々木 アキ(77歳) 新屋敷

三上 フミ(62歳) 七日市

佐藤 三郎(55歳) 羽立

佐藤 芳雄(90歳) 七日市

町民税一期の納期限は六月三十日です

納期限は六月三十日です